

EMITZ STRAHL

イミッツ・シュトラール

Work 06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

| SIZE | H-PCD | PRICE |
|---------|---------------|-----------------|
| 20×8.5J | 5-114.3&5-120 | 6万4900円~7万5900円 |
| 21×9.0J | 5-114.3&5-120 | 7万5900円~8万6900円 |

■カラー:ブラックカットクリア、ワークブラックメタルコート仕様

■構造:鍛造1ピース

40本→30本→そして、**36本**に——。
令和に進化した**ワイヤーデザイン**が降臨



その独創的でミステリアスな意匠でカスタムシーンに存在を示してきたレジェンドモデル「イミッツ」。1997年に誕生した3ピースのネガティブラウンドスポークは、40本フィンという先鋭の姿でシーンの話題を独占した。そんなイミッツは2017年、劇的に進化。30本の軽量化された2ピースホイールとして、どこか懐かしさも感じさせるその造形で多くの支持を集めた。そして

2025年、イミッツは再び、進化を遂げる。最新のイミッツに与えられた名前は「シュトラール」。ドイツ語で「光線」的な意味も持つその名の通り、36本のダイナミックなフィンを連ねた、美しく力強い1ピースモデルへと劇的に生まれ変わったのだ。

ため大口径感が強く、装着すれば足元がワンサイズ大きく見える。全体的には繊細で、軽やかな印象。センター部はシンプルなメッキ仕上げで、高級感も満点だ。

センターキャップはトヨタ&レクサス純正にも対応が可能で、5穴のPCD114.3と120のマルチPCD仕様となるため、装着できる車両の幅も大きい。このマルチPCD、実はさらに大きなメリットがあって、通常30アルヴェルから40アルヴェルに乗り換えた時にはPCDが120になるため、ホイールの買い直しが必要だったが、シュトラールなら、そのままホイールを流用が可能となるのだ。さらに、40アルファード&ヴェルファイア専用サイズで最適となるコンケイブデザインの採用なども注目ポイントだ。

ワイヤーのように細いフィンが数多く連なるため、全体的に繊細かつ軽やかでエレガントな印象。リムオーバーで大口径感も強烈だ。



ブラックカットクリア



ワークブラックメタルコート仕様

設定カラーは2色。ブラックカットクリアは王道で精悍、ワークブラックメタルコートは落ち着いた輝きを持つエレガント系だ。

イミッツらしいミステリアスなテイストは健在だが、スポーク本数は36本、構造はリムオーバーの1ピースとあらゆる面で劇的に進化。5穴のPCD114.3と120のマルチPCD仕様となるのもシュトラールの特権。30アルヴェルなどから40アルヴェルに乗り換えてもPCD的にはそのまま装着可能だ。





Seeker DT

シーカー・ディーティー

④ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

| SIZE | H-PCD | PRICE |
|---------------|-----------------------|-----------------|
| 16×6.0J~9.0J | 4-100 | 5万7200円~6万6000円 |
| 17×6.0J~10.5J | 5-114.3, 4-100, 5-100 | 6万3250円~7万5350円 |
| 18×7.5J~11.5J | 5-114.3, 4-100, 5-100 | 7万1500円~8万2500円 |

■カラー:マットブラック、カットクリア

■構造:鍛造2ピース

※DT, FD共通

5年振りとなるシーカー新意匠は
スタンス系で映えまくる

ただノスタルジーを感じさせるだけでなく、同時にモダンな造形も追求し、オールドスクールとニュースクールが融合した究極のストリートホイールを追求する。それがスタンスに特化したブランド、シーカーのコンセプト。そんなシーカーに2020年のMX以来、久々となる新デザインが、一挙にふたつ発表されることに。その新作2本もやはり、スタンスで映えまくる。

シーカーFDは細身の16本スポークをたずさえた極めてシンプルなフィンディッシュ。それでいてスポーク先端からディッシュ中央へ向けて4段階の落とし込みを持ち、軽快さと立体感もスマートに演出されている。スポークの先端同士が繋がっている形状がクラシカルで、スポーティさもあり、ローダウンにはもちろんハマるが、アゲ系と合わせるのもアリだ。

一方のシーカーDTはクラシカルな風味がより強め。正面からは無骨な鉄チン風で重厚だが、ディスクエンドのスクエア窓には厚みを持たせ、アルミ素材であることを強烈にアピール。ディスク中央付近を盛り上げたカップデザインもネオクラ感満点で、それでいて現代的で洗練された印象も醸し出す。主張しすぎないデザインだから、合わせやすく飽きが来ないのも魅力だ。



Seeker FD

シーカー・エフディー



立体的なディッシュと
16フィンが融合した「FD」

FD

段階的に落とし込んだ立体感あるディッシュと、細い16本スポークとを融合させたフィンディッシュ。洗練されたスポーティさが魅力。FDもDTも当然ワークのカスタムオーダープランに対応しているのでさらなる個性引き上げも可能だ。

ALL 2025
NEW
WHEELS



DT

EIGHTORE
TOYOTA PRIUS



無骨な鉄チン風のデザインを、アルミ素材で再現したクラシカルなディッシュ。ディスク中央付近が盛り上がったカップデザインが往年の空気感を盛り上げる。